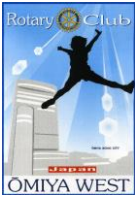


ROTARY CLUB OF OMIYA WEST

Rotary



2022-23 年度 大宮西ロータリークラブ 週報

創立：1963年3月22日

会長 小沢 孝

例会場：パレスホテル大宮

幹事 榎本 貞寿

例会日：月曜日 12:30～13:30 クラブ会報委員会

小岩 淳一

第2781例会 2023/06/19

発行日 2023/06/26



イマジン
ロータリー

会長挨拶



イマ

会長 小沢 孝

皆さんこんにちは。

本日のお客様、むさし証券株式会社 営業本部 副本部長 執行役員 高橋 洋 様、そしてパワー浜松ロータリークラブ 町田 拓郎 様、ようこそおいで下さいました。限られた時間ですが楽しんでいただけましたら幸いです。

本日は、年度総括として理事、委員長様にご報告をお願いいたします。

私の報告としましては、やり残したことがなくらい活動いたしました。何かあるのかと聞かれなければならないのです。

先ず、グローバル補助金プロジェクト。オーストラリアの森林火災のための貯水タンク設置支援については継続審査中です。結果次第で次年度以降の活動として関わってまいります。過去、当クラブでは、オーストラリア・メルボルンのクラブとのローターアクトプログラムにおいて相互訪問をはじめ、交流してきた歴史がございます。新たな取り組みとして活動ができれば良いと思います。

また、60周年の年度として、過去を振り返ってみたいと思います。「あの時があったから今がある」といった、当時の会長の思いをあらためてお聞きしたいです。

上半期の出来事としては、埼玉栄 IA との合同例会を行いました。インターアクトクラブ結成時の 1981 年 6 月 8 日当時の会長である、林 正会員に当時から振り返っていただき、ご挨拶をいただきました。

下半期。振り返れば 2003 年、荒井伸夫会長年度では「夢を繋ぐリレー卓話」という、会員ご子息の卓話の企画がありました。今年度は次回が最終例会ですが、私の希望で、是非、当時の企画の目的や趣旨をお聞きしたいです。なぜなら卓話をされたご本人である齊藤敏雄会員が先週にご入会され、過去の「夢」が現実になったという事ですから。来週の最終例会で少しお時間を頂戴し、発表の場を設けさせていただきます。よろしくお聞きいたします。

ロータリーの目的・四つのテスト

【本日のリーダー】

円谷 友香 会員



お客様紹介、米山記念奨学生紹介

■ オブザーバー／むさし証券株式会社営業本部 副本部長 執行役員 高橋 洋 様



■ パワー浜松ロータリークラブ 町田 拓郎 様
(ご紹介：
会長エレクト 藤嶋 剛史)



幹事報告

幹事 榎本 貞寿



① 本日のクラブ協議会では、理事、委員長の方々、年度総括の発表宜しくお聞き致します。週報に掲載する都合上、6/21(水)13時までに原稿を事務局までお送りください。

② 下半期の会費の納入のお願いです。お忘れの方がいましたら宜しくお聞き致します。

③ 会員候補者推薦の件、先週6/12(月)にご連絡してありますが、何かございましたら本日までとなっておりますのでよろしくお願い致します。

④ 来週6/26(月)は小沢年度最終夜間例会がパレスホテル4階ローズルームで開催されます。受付開始17:30となっております。出欠回答期限が6/16(金)となっております。大勢の会員の皆様のご参加を宜しくお聞き致します。

60周年 新たな奉仕活動へ～すべては好奇心から始めよう～

事務局：さいたま市大宮区桜木町1-11-2 YK-12ビル 4階

TEL 048-871-8881 FAX 048-871-8882

E-mail: west@rc-omiya-west.com HP: http://rc-omiya-west.com/



お客様ご挨拶

■パワー浜松ロータリークラブ

町田 拓郎様

仕事柄、全国へ出張があります。ロータリーライフを楽しもうと、月に一度は他県のRCに行くことにしています。



退任のご挨拶

■むさし証券株式会社 瀬戸本 一雄

5年間、多くのことを学びました。ありがとうございました。RCの精神は企業社会でも求められていると思います。大宮西RCの益々のご発展をお祈りします。



ロータリーの友解説

■広報委員会 委員長 風岡 淳一

横組

P.4~5

RI 会長メッセージ

P.7~P15

ロータリー親睦活動月間

P.14

ロータリー親睦活動の定義

P.12・13

モーターサイクルロータリアン国際親睦会の記事

縦組

P.14~17

ロータリーの友創刊 70 周年特別企画俳句コンテストの特選と秀作に選ばれた句が載っています。

P.29~31

浦和中 RC 浦和駅西口南高砂地区再開発事業の工事現場と隣接するさいたま市立高砂小学校への通学路との間の仮囲いの白い壁に、地区大口補助金を活用して同小学校の児童や地元の双葉幼稚園の園児ら約 300 人が描いた動物などの絵を壁面に貼り、楽しい景観をプレゼントしたとのこと。



クラブ協議会（年度総括）

■長期計画特別委員会 内山 泰成

大宮西ロータリークラブの戦略目標は3年ごとに改定されます。本年は3期目の戦略計画を作成して初めての年となります。戦略目標も適応力を高めるなどの、RI が推奨している DEI の考え方を取り入れたものと変化しております。今期は小沢会長のもと、組織図の見直しが行われました、また各種事業においても対外的な団体と繋がるなど、年間戦略計画に則った素晴らしい活動を実施していただきました。長期計画特別委員会の反省点としては、戦略計画は考えるだけで、それを推進するのは、会長に任せてしまっている点です。

2月の北清治パストガバナーをお招きしての卓話例会にて、貴重なご意見を頂きました。戦略計画の推進を戦略計画推進会議にて実施していること、クラブのビジョンにおいてもクラブの向かう方向性だけでなく、会員が何を目標として行動するかなど、具体的に明示していることを聞きました。今後、当クラブでも推進会議を発足させ、より戦略計画がクラブの会員に理解され、クラブそして会員の為になるよう改善をしていきたいと考えております。



■60周年特別委員会 副委員長 新井 清太
実行委員会といたしましては、伊田雄二郎委員長のもと3月18日に記念式典及び祝賀



会を開催いたしました。

記念事業の内容といたしましては、小沢年度の総括という意味で涌井雅之氏をお招きしての記念講演、埼玉栄IA40周年記念事業、財団・米山、ラオ・フレンズへの追加支援としての寄付を行いました。記念誌を含めての総予算は約950万円の支出となりました。まもなく皆様に記念誌をお届けできるところであります。実行委員会、そして皆様のご協力に感謝申し上げます。

■クラブ研修チーム 研修リーダー 新井 清太

今年度は委員会を研修リーダー中心にクラブ研修チームとして一つにまとめ、インシエーションスピーチを一年間担当いたしました。メンバーは内山パスト会長以降のパスト会長で構成されています。研修会は2月に「新入会員研修」と次年度の内容をテーマに「クラブRLI」を開催致しました。



■クラブ運営管理担当理事 小林 又次郎

■プログラム委員会 委員長 清水 恒信

■親睦委員会 委員長 島袋 博昭

今年度は、「とにかく会員一人ひとりが笑顔絶やさず交流できる空間を造り楽しく魅力ある各事業を開催する」と言う目標を掲げ運営してきました。12月のクリスマス夜間例会に於いては、多数のご家族にも参加していただき、坂本冬休みさんによるモノマネショーは大変盛り上がりしました。新年初例会は第4GIM合同新年会で盛大に行われました。親睦旅行は、2年ぶりに実施。20名の参加でしたが、仙台旅行は大変楽しく、親睦を深めた旅行でした。これもひとえに委員会のメンバーと皆様方のおかげだと思います。



■出席委員会 岡部 勉

今年度は、例会毎の出席報告をやめて、その時間を卓話やスマイル報告にまわしました。お誕生日には前年度より続きましたケーキのお祝いも継続して皆さんに喜んでいただけたと思います。しかしながら例会出席率の平均値が65.28%となり、まだまだ改善の余地ありとして、次年度出席委員長にバトンを渡したいと思っております。



■公共イメージ担当理事 山崎 一祥

広報委員会とクラブ会報委員会の2委員会で活動して参りました。苦手なことや人手の足りないことが多々あり、十分な内容とは言えませんでした。各委員会とも最低限の役割を果たせたのではないかと思っております。今年度に成しえなかったことは次年度へと引き継いでいただけたら幸いです。また事務局の皆様、パレスホテルの皆様、そしてガンちゃんには毎度毎度お手伝いをしていただき、ありがとうございました。何はともあれ、任期を無事に終えることができそうです。



■広報委員会 委員長 風岡 淳一

ロータリーの友の解説を月に1回行いました。クラブの活動の「ロータリーの友」への投稿については、当初60周年記念事業を考えておりましたが、基調講演と寄付ということで絵的にロータリーの友の記事になじまないと思われることから、会長と相談し、別の活動について今年度中に投稿することを進めています。



■クラブ会報委員会 小岩 淳一

■会員増強担当理事 新藤 栄介

小沢年度は、昨年7月に会員114名でスタートしました。今年度の当クラブの記念すべき60周年、純増15を目標に130名を目指しましたが、残念ながら6月末日の終了時点予想は【入会者6名・退会者10名】マイナス4の110名で終わる予定です。この結果も担当理事である私の責任を痛感しています。よって次年度も担当理事に留年する

事に致しました。なお藤嶋年度7月中に交代会員を含め5名の入会式を予定しておりますので115名に戻る予定です。

■ 会員増強委員会 委員長 星野 良江



■ 会員選考委員会 委員長 染谷 義一

会員選考委員長として6名の厳正なる選考を致しました。また、姉弟委員会でもあります会員増強委員会へ情報を提供し、会員増強のサポートをすることができました。

■ 国際奉仕担当理事 川崎 春夫

ロータリー思想そのものである「職業奉仕」の委員会を担当させていただきました。小沢会長の意を受け、SDGsをテーマとして先進的な企業と、当クラブの会員企業の取組について、全6回の卓話による担当例会を実施いたしました。



8/22 花王(株)

「花王の環境調和活動～過去・現在・未来～」

9/12 藤池会員の株式会社デサン「SDGsへの取り組み」

2/13 浅野会員の株式会社武蔵野銀行武蔵野銀行

「サステナビリティへの取り組み」

2/27 産業廃棄物処理の石坂産業株式会社

「Sustainability(持続可能)からRegeneration(再生)へ」

3/13 押野会員のテクノロジーOneグループ

「3Rの課題解決を目指して」

4/10 関根会員のご尽力でトヨタ自動車(株)

「カーボンニュートラル実現に向けた取り組みについて」それぞれ、事業活動そのものが社会奉仕となり持続可能な社会へとつながる取り組みを確認できたと思います。増永委員長並びに役員・理事・会員の皆様のご協力とご理解により全6回の担当例会を終えることが出来ました。

■ 職業奉仕委員会 委員長 増永 裕樹

今年度は小沢会長の強い希望によりSDGsを切り口に計6回の卓話を主催しました。年間を通じたテーマがSDGsと聞いたときは正直難しいと感じました。ビジネスを通じて社会問題を解決するというのは、言うは易し行うは難しとの印象を抱いていたからです。ところが石坂産業や会員の皆様などの取り組みを調べると、困難な命題を達成している企業があることに気づけました。SDGsは、ビジネスを通じて社会に貢献するという職業奉仕の精神と通ずるものがあります。1年間の経験を基に今後の職業奉仕に活かしていきたいと思っております。



■ 国際奉仕担当理事 井上 勝美

当部門は国際奉仕委員会 吉田浩士委員長、ロータリー財団委員会 永井 博委員長、米山記念奨学委員会 円谷 友香委員長、シスタークラブ委員会 萩原直樹委員長の4委員会にて、年度計画書に基づき運営して参りました。コロナ禍でラオ・フレンズ小児病院の訪問ができず残念でございました。



■ 国際奉仕委員会 吉田 浩士

国際奉仕委員会では、国際理解・親善・平和の推進に寄与するために、ベトナムのダナンへの支援と、今までにも支援を行って参りましたラオスのラオ・フレンズ小児病院への支援を行いました。

まずは、11/28 第2756例会では、運営母体であるフレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN代表理事の赤尾和美様にZoomでの卓話を行っていただき、ラオ・フレンズ小児病院の現状と活動内容について説明をいただきました。また、当クラブの60周年記念事業の一環として、ラオ・フレンズ小児病院へ日本円で50万円相当のパソコン機材、ハードディスク、小手術室と滅菌室の改築費の支援を行い、赤尾様には60周年記念式典にもご来賓として出席をしていただきました。今年度は海外の現地を訪問しての視察と支援を行うことができなかったことが残念ではありましたが、及第点以上の支援ができたのではないかと考えております。

■ ロータリー財団委員会 委員長 永井 博



■ 米山記念奨学委員会 委員長 円谷 友香

■ シスタークラブ委員会 委員長 萩原 直樹

クラブテーマである「60周年 新たな奉仕活動へ」に基づき、近年実現できなかった台湾・南投扶輪社への表敬訪問とメルボルン国際大会へのクラブメンバー参加を方針として挙げておりました。クラブとしての表敬訪問及び大会参加は実現できませんでしたが、今年4月に行われた南投RC創立60周年記念式典に、荒井伸夫会員と内山泰成会員に大使として訪問、姉妹クラブ締結を行っていただきました。次年度も引き続き台湾・南投扶輪社への訪問や交流など、更なる友好関係構築に努めてくと共に、来年こそは5月シンガポールで開催予定のロータリー国際大会に多くのクラブメンバーに参加いただけるように推進してまいります。



■ 社会奉仕担当理事 押野 一郎

大勢のメンバーが集う大宮西クラブだからこそインパクトのある社会奉仕活動ができたと思う。先輩諸氏が築き上げた歴史と伝統を重んじつつも変化への適応を少しずつ丁寧に心掛けた。特に10/8(土)に行われた第四グループ合同奉仕事業では、300人超の参加者を取りまとめ大盛況であった。内山ガバナー補佐、十文字グループ幹事、染谷実行委員長には心より感謝申し上げたい。



■ 社会奉仕委員会 副委員長 菊池 裕一

2つの事業を行いました。ひとつめは、昨年7月、児童養護施設カルテットへ、(株)サイボウ様のご協力をいただき、子供たちや職員の「防災用ヘルメット70個」を寄付しました。そして、昨年8月には、特別支援学校 大宮ろう学園へ、タイシン商事(株)様にご協力をいただき「50インチテレビ5台」を寄付しました。また、会員の皆様には、のぼり祭の折にバザー品のご提供にご協力をいただきましてありがとうございました。



■ 環境教育委員会 委員長 緒方 学

新たな奉仕事業「教育の奉仕」として、さとえ学園小学校で行われている5年生の総合学習授業の中のピオトーププロジェクトに、大宮西ロータリークラブとして、教育の手助けをメインに活動を行ってまいりました。初めての事ばかりだったので、学校の担当教諭である山中先生や小沢会長、押野理事、佐藤副委員長とも何度も話し合いながら、どのように具現化して行くか、悩みながらの日々でした。その結果、例会で学校とWeb中継にて生徒のプレゼン実施やピオトープに関する70件の質問や要望に対し、会員の皆様から300件を超える回答、意見、アドバイス等をいただき、皆様の多大なる協力も得て、なんとか形にできたのかなと思います。この経験を今後のロータリー活動や会社での仕事に活かして行きたいと考えております。



■ 青少年奉仕担当理事 土屋 隆弘

